

# 2019年度 オホーツク地区サッカー協会 第3種委員会

## 【 基本方針 】

ゲーム（長期的なリーグ戦）の中ですべての選手を育て、リスペクトの精神を徹底する。

- ・U-15カブスリーグは、年間を通しての長期リーグ戦として、全チームが中学3年生が通年で試合できることを目指す。
- ・U-13カブスリーグは8人制で行い、U-13(14)選手の試合経験の機会を確保する。
- ・リーグ戦や大会を通して、【相手チーム、審判、指導者、チームメート、運営、保護者】など、試合ができることに関わる周囲へのリスペクトの精神を育む。

## 1、委員会及び大会運営事業

- (1) 第3種委員会は、網走地区サッカー協会に第3種登録している全チームの指導者（チーム理事）1名を委員として構成する。その他必要な場合は、各チーム1名とは限らない。
- (2) 委員長は3種委員会及びその事業を統括し、地区協会常任理事としての任務を遂行する。
- (3) 副委員長は委員長の任務を補佐する。
- (4) 会計担当は3種委員会の予算を作成し、適正な執行及び会計決算を行う。
- (5) 監査は年度の終わりに3種会計の監査を行う。
- (6) 大会事業チーフは、大会要項の送付・案内ならびに大会当番事務局や会場担当と連携を図り、各大会を運営する。会場は前年度3月末まで決定することを原則とする。  
(リーグについては参加チームと協議し出来るだけ早く決定する)
- (7) 大会事業担当者は各大会の運営を行う。
- (8) その他の常任委員は、3種委員会事業のサポートを行う。

## 2、技術委員会との連携

- (1) 技術委員会U-14部会と連携をとり、オホーツク地区トレセンをサポートする。
- (2) 技術委員を選出し、技術委員会会議に出席する。
- (3) 指導技術向上のため、積極的に公認指導者資格取得や指導者講習会受講を促す。

## 3、審判委員会との連携

- (1) 審判委員会3種担当者と連携をとり、各大会の審判派遣依頼ならびに割り振りを行う。
- (2) スムーズな大会運営を目的とし、各チームの指導者の積極的な審判資格取得と活動を促す。
- (3) 審判技術向上のため、積極的に2級上申希望者（指定審判員）を推薦する。

## 4、女子委員会・女子トレセンとの連携

- (1) 4種→3種での女子選手の引き継ぎを明確にするために、選手を把握する。
- (2) 女子選手の日常的なゲーム環境構築に向けて、女子委員会と連携して事業を展開する。
- (3) 女子のトレセン事業の日程を把握し、選手が迷いなく事業に参加できるよう調整する。